

第4回半田市議会定例会文教厚生委員会委員長報告書

当文教厚生委員会に付託された案件については、8月31日、午後1時から、全員協議会室において、委員全員出席のもと慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

初めに、議案第56号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

地域ケア多職種協働推進事業について、当初から相談窓口が欲しいというニーズがあったから行うのか、補助金がついたから行うのか。また、モデル地区を選定して行うのか。とに対し、

ふくし相談窓口は、平成22年4月に策定しました地域福祉計画の重点施策のひとつであり、窓口開設にあたっての人材育成も計画の中で着実に進めている事業であります。当初は、社会福祉協議会の資格のある職員を講師として人材育成を図ることを計画していましたが、補助金を有効活用することにより、より専門的な講師等による知識の取得ができるよう実施するものです。また、拠点となる相談窓口については、共生型福祉施設などの現在市内にある気軽に人が集まれる場所、ボランティア相談員を育成したい地域などを考慮し選定していきたいと考えています。とのこと。

予防接種事業について、生ワクチンから不活化ワクチンに切り変わる年度ということで、接種を控える方もみえたと思うが、例年と比較してどのような状況か。とに対し、

詳細な人数は把握しておりませんが、生ワクチンから切り変わるという報道などにより、わずかではありますが、差し控えをした方もお見えになります。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第57号については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、約1億円の還付金が生じた原因は何か。とに対し、

当初は、前年度実績と次年度の給付の伸び率を見込み、国が概算により交付したもので、最終的な決算報告により確定され還付金が生じたものです。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第58号については、補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、請願第6号については、慎重審査の後、討論を省略し、挙手により採決した結果、委員全員をもって、採択とすることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。